

# Support


<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

特別号 (中学校)  
平成26年2月17日  
編集・発行  
新潟市教育委員会  
学校支援課 広報担当

## 学力向上フォーラム(中学校)特集号

1月28日(火)新潟市立総合教育センターにおいて、「新潟市学力向上フォーラム【中学校】」を開催しました。確かな学力の育成に向けた授業改善の取組について、研究主任の先生方から情報交換・協議していただきました。


「ねらい」と「学習課題」、「学習のまとめ」と「振り返り」の違いを理解してもらいたいのですが・・・



●●中 研究主任

かわりあいの学習が研究テーマだけど、生徒の実態が様々で、研究がなかなか深まらなくて・・・

「学習課題」の設定の仕方がよくわからないと多くの職員が困っていて・・・



△△中 研究主任

「学習課題」と正対した「学習のまとめ」の授業構成は、教科によってできないものがあるのでは？

### グループ協議

「課題」「手順」「まとめ」などの板書用の掲示物を全校で統一して授業を進めています。

ミニホワイトボードを使って、生徒に自分の考えを書かせたり、発表の場面で活用させたりしています。



授業改善の自己評価シートを使い始めました。評価内容を検討し、より有効な使い方を考えていきたいです。

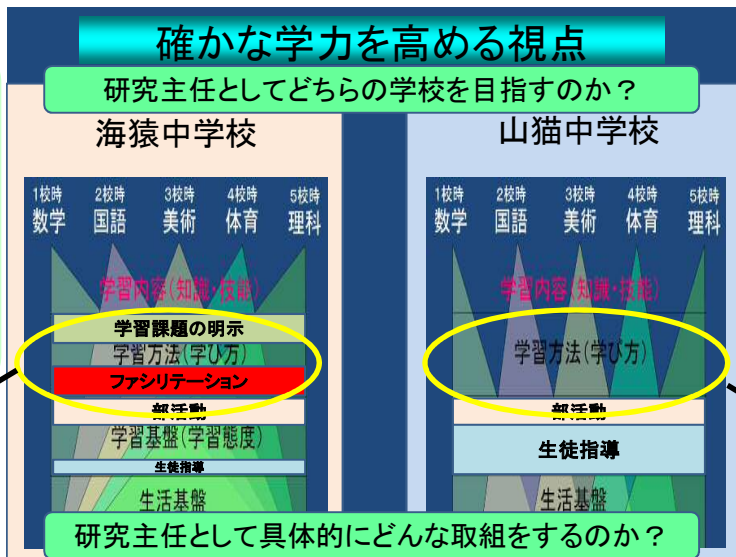
指導案に板書計画を付けることで、授業改善の意識を高めています。

B問題(活用)を定期テストに入れて、活用力が付いているかを確認する取組を始めました。



右の2つの学校の違いは、学習方法(学び方)を全体の研修に含めているかいないかです。学習方法(学び方)に関する事は、教科の枠を越えて共通に取り組みることが複数あります。

学び方を研修に取り入れて、全職員で取り組む学校



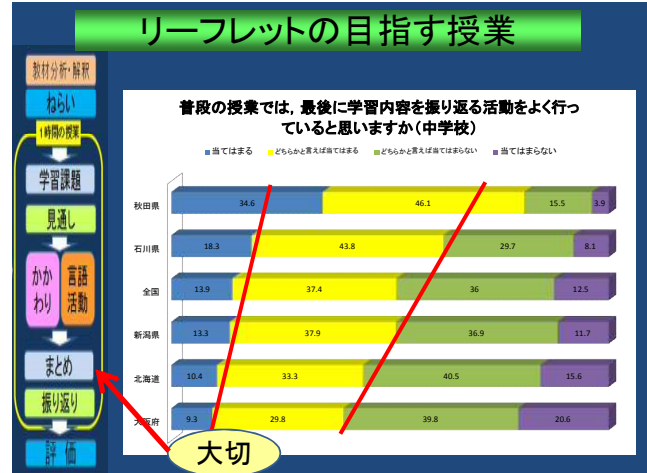
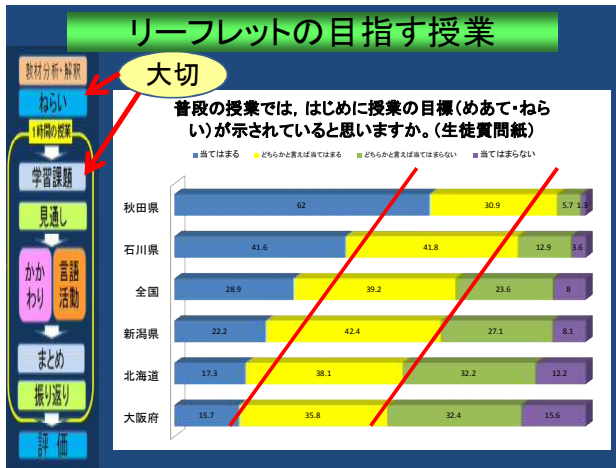
例えば、「課題」と「まとめ」を意識したノートのまとめ方、話し合いの仕方などを研修に位置付けて共通に取り組み、生徒に身に付けさせていくことで、各教科でより効果的な学習を実現していくことができます。

学び方は、各教科担当に任せている学校



今年度の全国学力・学習状況調査クロス集計でも、「授業の目標(めあて, ねらい)が示されている」、「学習内容を振り返る活動をよく行っている」という質問項目に肯定的に回答している生徒の多い県では、正答率が高くなっています。

教師は、授業の前段においては、生徒が目標の達成に向かえるように、適切な学習課題を提示しなくてはなりません。また、授業の終末段階においては、教師は学習のまとめを確実に行って何を学習したかを整理するとともに、生徒に学びを自覚させるために「振り返り」をさせる必要があります。



## 基調講演 学力向上に組織的に取り組むための具体策について

国立教育政策研究所教育課程調査官・学力調査官  
文部科学省教科調査官 富山 哲也 氏



中学校は研修の時間の確保が難しいので、各教科からその週で行った授業の「学習課題」を提出してもらい、全職員に課題設定のあり方を考える資料として配付するだけでも効果的な取組になると思います。

### 組織的

(社会：課題)  
江戸幕府は、なぜ全国の名を支配できたのだろうか？

(国語：課題)  
〇〇という表現の工夫は、どのような効果を上げているのだろうか？

(数学：学習課題)  
負の数のかけ算はどのように計算できるだろうか？

(音楽：課題)  
シューベルト作曲の「魔王」の方が心情の変化が伝わるのはなぜだろうか？

他の教科の「学習課題」や「学習のまとめ」は、自分の教科の学習課題設定のヒントになります。



◎「言語活動の充実」においては、下記二点を大切にするように指導がありました。

- ・全ての教育活動で育成する。
- ・各教科の目標を実現するために取り入れる。

このほか、目標に準拠した評価の在り方についての具体的な活用場面や、評価を軸にした授業研究の提案などについても指導いただきました。